俵

人（ひと）の部・10画
左右型／ノ（ななめぼう）

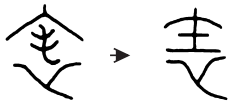
くん **たわら**　むかしは、米や塩、炭などを、**俵**につめて保管した。
おすもうさんが力くらべで、**米俵**を三つも持ち上げた。

おん **ヒョウ**　**土俵**では、両力士の熱戦がくりひろげられている。
一俵の米は、重さでいえば六十キログラムだ。

いみ **たわら・わらや、かやであんだ大きなふくろ**●俵物・米俵・炭俵・一俵・土俵

なりたち

人のよこ向きの形。



毛でできた上着のことで、おもてのこと。

イ と 表 で 俵

もとは、人が着る上着のおもてのことだったが、のちに、米や麦などを入れるふくろのおもて、つまり**〈たわら〉**の意味になった。

となえかた

俵	**にんべん**に（**イ**をかいて）
俵	**よこ　たて　よこ　よこ**
俵	**イ**の**たてはねて**
俵	**左**に**はらって**
俵	**右ばらい**

きを　つけよう　**俵**の「主」を「土」としない。

預

頁（おおがい）の部・13画
左右型／一（よこぼう）

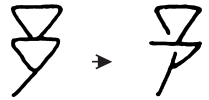
くん **あずける**　インコをおとなりの家に**預け**て、旅行にいく。
決勝戦の試合結果は、審判に**預け**られた。

あずかる　鉄道の運転士は、多くの人命を**預かる**責任の重い職業だ。
きみたちのけんかは、このぼくが**預かっ**ておく。

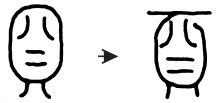
おん **ヨ**　お年玉はむだづかいをしないで、銀行に**預金**する。

いみ **あずける・あずかる**●一時預け・預金・預託・定期預金

なりたち



いろいろな品物の形。



人の頭の形で、顔のこと。

予 と 頁 で 預

よく顔を知っている人に、だいじな品物をあずけることから**〈あずける・あずかる〉**の意味になった。

となえかた

預	かなの**マ**に
預	**フ**をかいて
預	**たて**ぼう **はね**たら
預	**一　ノ　目　八**

きを　つけよう　**預**の「予」を「矛」としない。

舌

舌(した)の部・6画
□ その他型／ノ(ななめぼう)

くん **した**　おさない弟は、まだ**舌**がよくまわらない。
相手チームのあまりの強さに、**舌**を巻いた。

おん（ゼツ）　候補者どうしの**舌戦**をみようと、駅前に人が集まった。
試合に負けたときのくやしさは、**筆舌**につくしがたい。

いみ ❶**した**●舌打ち・舌先・舌鼓・巻き舌・舌端・舌頭　❷**いう・しゃべる・ことば**●舌代・二枚舌・舌戦・口舌・長広舌・毒舌・筆舌・弁舌

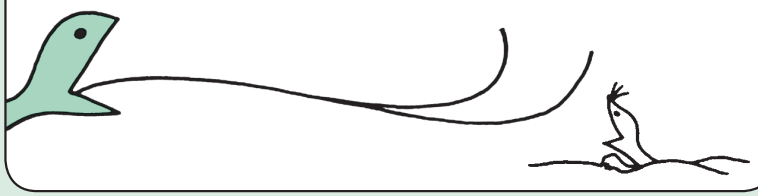
なりたち

「した」で、上くちびるをなめている形。

物をなめるとき、くちびるをおしのけて外へつきだしてくる物の形から〈**した**〉の意味をあらわす。

となえかた

舌	ノ
舌	よこ
舌	**たて**で
舌	口をかく



クイズ　「**舌を巻く**」の意味は？　①おどろく　②悲しむ　③よろこぶ

承

手(て)の部・8画
□ 左右型／一(よこぼう)

くん（**うけたまわ**る）　今回の問題について、まずは先生の考えを**承る**。
電話で商品の注文を**承る**のが、母の仕事だ。
承るところによると、前の校長はご病気だそうだ。

おん **ショウ**　父の**承諾**をえて、五教科のドリルを買う。
おやつを食べすぎると太ると、百も**承知**している。

いみ ❶**うけたまわる・ききいれる**●承引・承諾・承知・承認・承服・不承不承・了承　❷**うける・うけつぐ**●承前・起承転結・継承・口承・伝承

なりたち

ひざまずく形と、手で持ちあげている形。

両手をたかくあげて、えらい人から物をさずかるようすから〈**うけつぐ・ききいれる**〉などの意味をあらわす。

となえかた

承	**子**のよこ**みじかく** **3**本つけて
承	かなの**フ** かいたら
承	**左右**に**はらう**

クイズ　□**承転結**　□に入るのは？　①不　②起　③基

敵

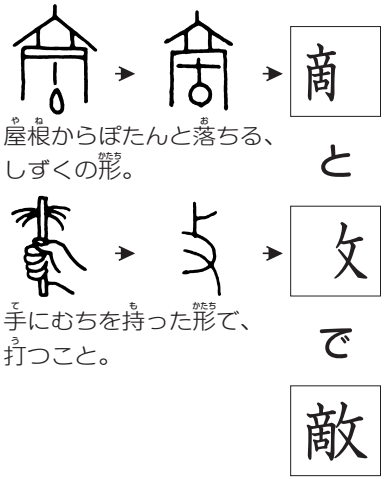
攵（のぶん）の部・15画
左右型／丶（てん）

くん（かたき）　王様の**敵**をうつために、家来たちは立ちあがった。
大型スーパーは、商店街の店の**商売敵**になっている。

おん テキ　昨日の**敵**は、今日の友。
決勝戦の相手はかなりの**強敵**だから、油断するな。

いみ **てき・かたき**●敵役・敵意・敵軍・敵国・敵視・敵将・敵情・敵対・敵地・敵兵・強敵・宿敵・大敵・天敵・匹敵・不敵・無敵

なりたち

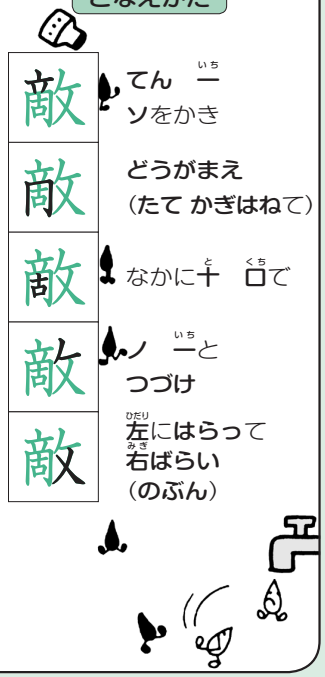


屋根からぽたんと落ちる、しずくの形。

手にむちを持った形で、打つこと。

落ちるしずくがまっすぐ地面に向かうように、まっすぐに向かい合う相手のこと、つまり〈**てき・かたき**〉の意味をあらわす。

となえかた



クイズ　□**断大敵**　□に入るのは？　①湯　②油　③不

徳

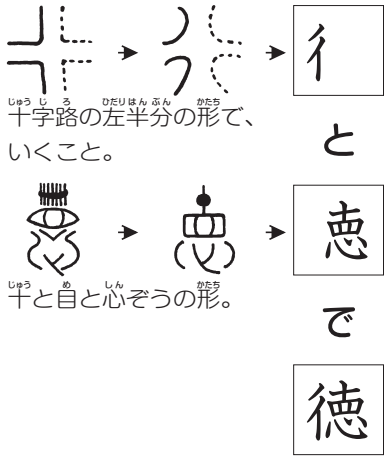
彳（ぎょうにんべん）の部・14画
左右型／ノ（ななめぼう）

くん ――

おん トク　村長さんがみんなから愛されるのは、**人徳**があるからだ。
道徳を学ぶことは、とても大切だ。
大袋の**徳用チョコ**を買う。

いみ ❶**よいおこないをする心のはたらき**●徳性・徳望・徳行・人徳・不徳・報徳　❷**おしえ・人のふむべき道**●徳育・徳目・悪徳・道徳・美徳　❸**めぐみ・有利なこと**●徳用・功徳

なりたち



十字路の左半分の形で、いくこと。

十と目と心ぞうの形。

十人の目と心で判断した正しいことをおこなうことから〈**よいおこないをする心のはたらき**〉をあらわした。

となえかた

ぎょうにんべんに（ノ　イとかき）

十

四の

心

クイズ　**徳**が入るのは？　①道□　②納□　③独□

退

辶(しんにょう)の部・9画
□その他型／一(よこぼう)

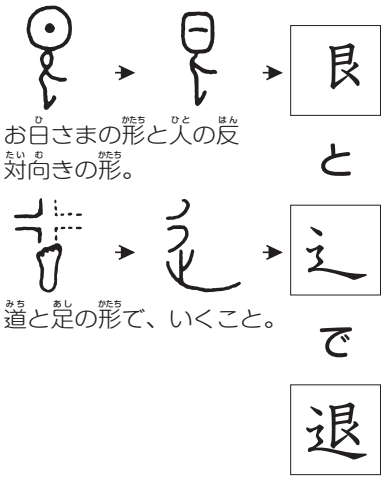
くん しりぞく　トラのあまりの迫力に、わたしはおりから一歩**退い**た。
祖父が社長を**退い**たので、父がそのあとをついだ。
しりぞける　むらがる敵を**退け**て、ぼくはゴールに突進した。

おん タイ　おじいさんの一声で、いたずらっ子たちは**退散**した。
モグラの目は**退化**していて、視力はほとんどない。

いみ ❶しりぞく・しりぞける●退院・退去・退散・退治・退場・退席・後退・辞退・早退・敗退　❷身をひく・やめる●退位・退学・退官・退校・退社・退職・引退・脱退・勇退　❸おとろえる●退化・退歩

●特別な読み…(立ち退く)

なりたち



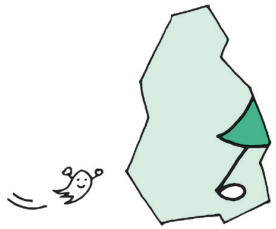
お日さまの形と人の反対向きの形。

道と足の形で、いくこと。

太陽が東から出て反対がわの西にしずむようすから〈しりぞく・身をひく〉の意味をあらわした。

となえかた

退	かなのヨに
退	たてぼうはねて
退	くをかいて
退	左におおきく しんにょうつける



さんこう 退の反対の意味の字…進

恩

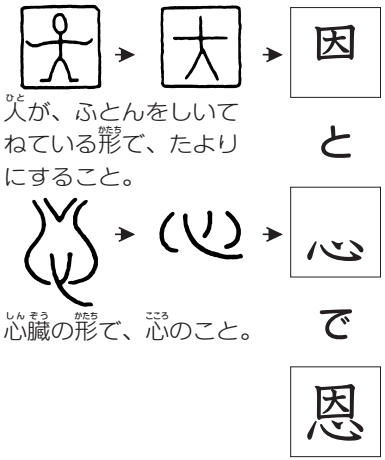
心(こころ)の部・10画
□上下型／丨(たてぼう)

くん ———

おん オン　「つるの**恩返し**」は、山形県の民話をもとにしたお話だ。
妹と母は、卒業式のあと**謝恩会**にいった。
親切を**恩**にきせるのが、姉のいやなところだ。
地球上の生物は、太陽の**恩恵**をうけている。

いみ めぐみ・なさけ・なさけをうけること●恩愛・恩返し・恩義・恩給・恩恵・恩師・恩賜・恩賞・恩情・恩人・恩典・旧恩・高恩・師恩・謝恩会・大恩・報恩

なりたち



人が、ふとんをしいてねている形で、たよりにすること。

心臓の形で、心のこと。

たよりにする心とは、人のめぐみや、なさけをあてにする心なので、〈なさけ・めぐみ〉の意味になった。

となえかた

恩	たてぼうかぎに
恩	大をいれ
恩	そこをとじたら
恩	心をしたに

きをつけよう 恩と似ている字…思

賀

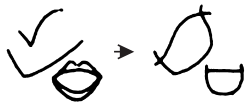
貝(かい)の部・12画
上下型／一(よこぼう)

くん ———

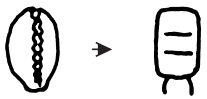
おん ガ　**祝賀パレード**が通る沿道は、お祝いにかけつけた人でいっぱいだ。
元日に**年賀状**がとどくのは、やっぱりうれしいね。
新年の**一般参賀**が、皇居でおこなわれた。

いみ **いわう・よろこぶ**●賀詞・賀春・賀正・賀状・謹賀新年・慶賀・参賀・祝賀・年賀・拝賀

なりたち



力こぶの形と、口の形。



貝の形で、たからものやお金のこと。

カ口 と 貝 で 賀

うでや口をつかい、おおいに力をいれて仕事をした人に、ものやお金をあたえ、ほめてやることから〈いわう〉の意味をあらわした。

となえかた

賀 力に

賀 口をつけて

賀 貝をかく

キノコくんの住所
大本市根本町
0番地

きを つけよう 賀の「貝」を「見」としない。

群

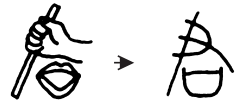
羊(ひつじ)の部・13画
左右型／一(よこぼう)

くん むれる　公園の池に**群れる**鳥を観察する。
むれ　むこうの山の斜面に、羊の**群れ**がみえる。
むら　こぼしたジュースに、あっというまにアリが**群がる**。

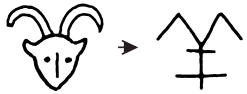
おん グン　大ホームランに、球場の**群衆**が歓声をあげた。

いみ **むらがる・むれ・おおぜい・たくさん**●群衆・群集・群書・群小・群生・群像・群島・群舞・群盲・群落・一群・魚群・大群・抜群

なりたち



右手にぼうを持つ形と口で、指図する人。



羊の顔の形。

君 と 羊 で 群

指図したり、全体をまとめたりする番人によって、ひとまとまりになっている羊のことから〈むれ〉の意味をあらわす。

となえかた

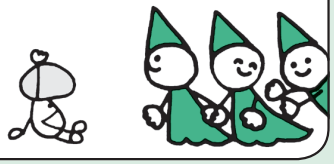
群 ヨのなかながく

群 ノに

群 口をつけ

群 ソ 一で

群 よこ　よこ
たてぼうをかく



きを つけよう 群と似ている字…郡

富

宀（うかんむり）の部・12画
上下型／丶（てん）

くん とむ　中国は、さまざまな地下資源に**富む**。
とみ　コンピューター関連の事業で、巨万の**富**をえる。
おん フ　**豊富**な品ぞろえで評判の店。
貧富の差がはげしい国。
（フウ）　その上品なむすめは、**富貴**な家に生まれた。

いみ **とむ・とみ・おおくなる**●富貴（富貴）・富家（富家）・富強・富豪・富者・富有・富裕・富力・巨富・国富・貧富・豊富
●**特別な読み**…〈都道府県〉富山
●**読み方に注意**…「富貴」は、「ふっき」とも読む。

なりたち

家のやねの形。

くらに、こくもつがいっぱいつまり、入り口がふさがっている形。

宀 と 畐 で 富

家のくらに、物がたくさんつまっていることから〈**とむ・とみ・おおくなる**〉の意味をあらわした。

となえかた

富	**ウかんむり**（**ウ**をかいて）
富	一
富	口かいて
富	田をしたに

さんこう　富の反対の意味の字…**貧**

銭

金（かね）の部・14画
左右型／ノ（ななめぼう）

くん（ぜに）　バスにのるときは、**小銭**をもっていたほうがよい。
大学生の兄は、短期のアルバイトで**日銭**をかせいでいる。
おん セン　中国の**古銭**には、刀の形をしたものがある。
おばあちゃんといっしょに、**銭湯**にいくのは楽しい。

いみ ❶**ぜに・お金**●小銭・日銭・銭財・銭湯・悪銭・金銭・古銭・さい銭・借銭・釣り銭・銅銭　❷**お金の単位・円の百分の一**●一銭・一銭銅貨

なりたち

山にこがねがまじっている形で、お金のこと。

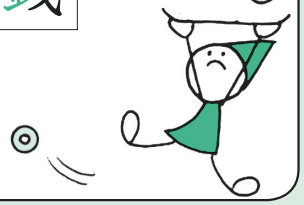
二つのほこでなんども切りつけ、小さくけずること。

金 と 戔 で 銭

小さくけずったような、こまかいお金ということで〈**お金**〉の意味になり、のちに〈**お金の単位**〉をあらわした。

となえかた

銭	**ひとやね**に
銭	**よこ**ぼう２本
銭	**たて　ソ　一**（**金へん**に）
銭	**よこ**ぼう３本
銭	**たすきにてん**



クイズ　□**に追い銭**　□に入るのは？　①泥棒　②役者　③罪人

券

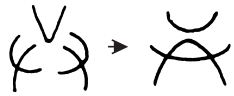
刀（かたな）の部・8画
□その他型／丶（てん）

くん ――――

おん ケン　祖父から、夏休みに上映される映画の**招待券**をもらった。
自分のお年玉で、恐竜博の**入場券**を買った。
今回の旅行は、目的地までの**往復乗車券**を買うことになった。
バスの**回数券**は、十パーセントくらい割引になっている。

いみ **けん・やくそくをしたしるしになるふだ**●券売機・回数券・株券・金券・債券・証券・乗車券・招待券・商品券・食券・整理券・定期券・入場券・半券・前売り券・旅券

なりたち



二人で、物を持つ形。

刀の形で、ほること。

关	と	
刀	で	
券		

むかしは、約束ごとを木の札にほりつけて、ふたつに分け、それぞれが持っていたことから**〈けん・やくそくをしたしるしになるふだ〉**の意味になった。

となえかた

券	ソに
券	よこ2本
券	人をかき
券	なかに刀をいれておく

券券券券券券

きを　つけよう　**券**と似ている字…**巻**